

[フォトドキュメンタリーワークショップ受講者の声]

大西 正さん（受講者）

私はフォトジャーナリストではありません。しかし実践的な講義による技術・知識の取得、本気で学ぶ同期生達とのディスカッション、クイック・ヒット・エッセイの編集・発表における指導など全てが現在の自分の写真シリーズ制作に生きています。昨年いくつか賞をいただき写真展を行ったシリーズもワークショップで取得した内容を反芻してセレクト・構成を行いました。3日間ですがとても充実し、また実践的なワークショップです。

苅部 太郎さん（フォトグラファー）

写真の審美や技術に加えてプロの写真家として求められる資質・倫理・主題のを見つけ方などのエッセンスを体系的に学ぶことができ、また講師や受講生との繋がりは参加から時間を経た今も活動の大きな支えとなっています。

千賀 健史さん（写真家）

短期間に課題を決めて、プランを練り、撮りに行き、まとめるという経験はなかなか大変でしたが、その経験はプロジェクトにどう取り組むのかを考え直すきっかけとなりましたし、その後の自分の作品制作の姿勢に大きな影響を与えたと思います。

特にこれからドキュメンタリー写真に取り組もうとしている人におすすめかなと思います。

伊藤 真吾さん（フォトグラファー）

第1回のワークショップに参加し、同期や2期生以降の受講生とも、いまだに交友があります。

皆さんの活躍に刺激を受けて、いつも自分を省みています。

大切な仲間を得たことはその後の私の人生においてとても大きな財産になりました。

築根ひろ子さん（受講者）

写真の見方、訴求力のある写真の作り方、テーマを深めるための考え方、作品制作の倫理、業界の現状やキャリア形成の過程まで、ドキュメンタリー写真を制作して活動するために必要なステップを、実践を交えながら包括的に学ぶことができました。講師のお二人はもちろん、様々なバックグラウンドを持った参加者と、ドキュメンタリー写真家・フォトジャーナリストとして活躍するワークショップの卒業生の方々と出会えたことも、今後活動していく上で大きな励みとなりました。